

教育学および関連諸科学の電算機による 文献検索プログラムの開発について ②

百 名 盛 之・菅 千 索

A Document Retrieval System for Educational Studies
and Related Sciences (2)

MOMONA Moriyuki, SUGA Sensaku

教育学および教育関連諸科学のための文献検索データベース“ERIC”は、'79年春より京都大学大型計算機センターで開発が進められてきたが(第1報:百名ほか, 1979), 1980年9月8日付をもって正式運用が開始され、一般ユーザーによる検索が可能となった。いうまでもなく大型電算機システムでは大量の情報を高速で処理することができるが、それによって検索時間の短縮、網羅可能な文献数の増加、情報の利用効率の改善などが大きく期待される。とりわけ必要とする文献が試行錯誤的な方法でしか検索できない場合には、従来の方法では考えられない程の効果を発揮するであろう。教育学関係の分野は、その学問上の性質として多様な学術研究との交渉をもち、同時に現代社会の要請もあって近年の文献数の増加には目覚しいものがある。それゆえ電算機の利用による合理的な文献検索システムの必要性は、これまで多くの研究者や教育者によって認識されてきたのであるが、このたび構築された ERIC データベースはまさにそれを実現したものといえる。近い将来にはこの ERIC の利用が教育学関係者の必須条件になると予想されるであろう。

ERIC の導入・開発は京都大学教育学部(以下、本学部と記す)と同大型計算機センター(以下、大型センターと記す)の協同作業によって推進されてきた。1979年秋にはプログラムの初版が完成し、その運用テストが重ねられていたが、その途中で Educational Resources Information Center からの原データの供給形態およびレコード形式に変更が生じたため、正式運用を見合わせることを余儀なくされた。それは ERIC データベースの完成を公表した前後の出来事であり、一部の利用予定者にはご迷惑をおかけしたかもしれない。また一方では1980年9月に大型センターの記憶装置が再編成されることが決り、それに伴ってすべてのデータベースが新しい記憶領域上に再構築される運びとなった。そのため ERIC としてもプログラムの大幅な改訂を含めて同年7月～8月に集中的な作業を行ない、現行のデータベースとして完成するに至ったのであった。

ところで正式運用の開始以後も、文献情報の追加による定期的なファイル更新や検索機能の向上のための DDL の修正といった維持・管理作業は、絶えず継続されねばならない。こうした作業は、大型センターの援助は受けるが、開発段階とは異なり本学部が中心となって実施される予定である。そこで本報では、ERIC データベースの構築に際して行った一連の作業内容を報告して今後に必要なと思われる情報を記録することを目的とする。これはデータベースの維持・管理に

不可欠であることは明らかなが、さらには ERIC の内部構造を広く紹介してユーザーの効率的、能率的な検索方法の習得に寄与するものだと考えられるのである。なお、本報では文献目録雑誌である RIE (Resources in Education) と CIJE (Current Index to Journals in Education) については周知のものとする。ERIC データベースに蓄積されているのは、RIE 誌の “Documents Resumes” および CIJE 誌の “Main Entry” 欄の内容とほぼ一致している。また、実際の検索方法やそれに必要なコマンド文法については末尾の付録に示す文献・資料に詳しく紹介されているので本報では扱わない。

ERIC データベースは富士通社開発の情報検索ソフトウェア “FAIRS-I” によって全面的にサポートされ、それは OSIV/F4 の制御下で稼動している。FAIRS-I はデータベースの運用管理、情報の蓄積・更新、情報検索にわたる非常に豊富な機能を有し、TSS およびバッチの両環境下で動作可能であるが、特に TSS による会話型処理に重点が置かれている。このシステムを使用したデータベースの構築作業では、FAIRS-I を制御する DDL の作成と、蓄積するデータを FAIRS-I が指定する形式で用意することが中心をなす。そこで具体的に ERIC データベースについて行った内容を順に報告する。

ステップ_1：原データの内容識別

ERIC の原データは磁気テープ (NL, 1600 bpi) に収められており、TAG とよばれる数字によって項目が指定されている。たとえば TAG の『26』は題名であり、同『27』は著者名の項目である。ところが、この TAG 番号が1979年秋の時点から変更されたため、TAG とデータ項目の関係を知ることが作業の出発点となった。原データの供給者からは満足のいく資料が提供されなかったこともあり、磁気テープの内容をそのままラインプリンタに出力するプログラムを作成し、1980年3月分について出力内容と該当する雑誌を比較することによって TAG 番号と項目を判定した。このプログラムは保存されているので、将来に新しい TAG が追加された場合などの際にその項目内容を知るために利用できる。

ステップ_2：項目選定とデータ変換

前ステップで内容と TAG が明らかになった項目のなかからデータベースに入力する必要のあるものを選定した。一般的には項目数が多いほど広範な検索が可能であり情報量も多くなるが、電算機の記憶資源の有効利用という観点からは、あまり重要でない項目については削除するのが望ましい。今回の ERIC 構築においては、検索可能性を主眼においたため削除する項目は最少限にとどめた。その結果、Sponsoring Agency; Report No.; Contract No.; Grant No.; Bureau No. など文献内容に直接関係しない項目は省かれた。こうして採用された項目が適当であったかどうかについては、多くのユーザーの意見を待ち、また大型センターの運用状況と併せて再検討をしていけばよいであろう。

次に PL/I 言語によって FAIRS-I が指定する形に原データを変換するプログラムを作成した。そして不要な項目を削除するとともに選定された15項目の変換を実行し、それを別に用意した磁気テープ (SL, 6250 bpi) に保存した。変換後直接に入力せず中間保存を行ったのは、システム障害によるファイルの破壊や記憶領域の変更などの際に再入力する必要が想定されたためである。

る。将来にわたって新しくデータを追加する場合にもこの方法がとられる予定である。このステップによって ERIC データベースに必要なデータが完全な形で作成されたことになる。

ステップ_3：データベースの初期化

INITIALIZE コマンドによるデータベースの初期化では、データベースの命名、論理構造用データセットの確保、サブファイルの命名と記憶領域の確保が行われねばならない。データベース名は原データ供給者の略称である ERIC を使用し、サブファイル名は目録名にその出版年を附加して“RIE 79”, “RIE 80”, “CIJE 79”などとした。サブファイルを目録別の年単位としたのは、一回あたりの最小検索範囲をある程度小さく抑えて、事前にサブファイルの選択が可能な場合には不要な CPU 時間を消費しないためである。複数のサブファイルを同時に検索したいときは、指定する際に列記すればよい。サブファイルの指定を省略すると全サブファイルが呼ばれたものとして処理される。一方、ファイルの記憶領域としては 200MB のディスクバック装置の 1 台 (DB 0555) が ERIC 専用に割り当てられている。試算では RIE と CIJE の 1 年分で約 70MB ほど必要であり、現状では 3 年分程度しかないが、それ以上については MSS の利用も含めて大型センター側で検討されることになっている。

ステップ_4：データベースの定義 (DDL)

ここでは DBGEN サブシステム下で、データベースの全般用内容、マスターレコードの論理構造、インバーテッドファイル作成に関する情報、不要語の登録などを行なう。文献検索を実行するときに直接関係する事項のほとんどがこのステップで決定される。それゆえ、ERIC データベースの能率的な利用法を考える際には、これらの諸定義・登録内容を知ることが有益である。ここでは実際に入力した DDL のコマンド群(資料 1)を示すにとどめるが、別の機会があれば詳しく解説したいと考えている。付記にある参考文献によってユーザー自身が調べることも決して困難ではないであろう。なお、これらの定義情報をはじめサブファイルや各項目についてのコメントは、検索中の RS サブシステム下で SHOW コマンドに必要なオペラペドを指定すれば容易に出力できるようになっている。

ステップ_5：データ入力とインバース

INPUT コマンドを使用して、ステップ_2 で用意した磁気テープ上の変換データをデータベースに入力する。テキスト属性をもつ項目から切り出されるキーワード・インバーテッドファイルは、データ入力と同時に作り出される。一方、キャラクタ属性のなかで指定した項目だけから作られるインデックス・インバーテッドファイルは、INVERT コマンドを入力して初めて行われる。ここで注意しておかねばならないのは、すでにインデックス・インバーテッドファイルが作成されているサブファイルにデータを追加した場合には、それまでのインデックス・インバーテッドファイルを一度消去してから、追加分も含めた全体についてインバースをかけねばならない点である。

このたび正式運用を開始した ERIC データベースは、おおよそ以上に述べてきた作業段階を

資料1 ERIC データベースの DDL

```

00010 DATABASE EXPLANATION('THE EDUCATIONAL RESOURCES INFORMATION CENTER(ERIC
00020 ) DATA BASE PROVIDES COVERAGE OF THE SIGNIFICANT LITERATURE IN THE FIELD
00030 D OF EDUCATIONAL RESOURCES. REPORT LITERATURE (ANNOUNCED IN "RESOURCEC
00040 S IN EDUCATION <RIE>") IS COVERED FROM APRIL 1979, AND JOURNAL ARTICLC
00050 E LITERATURE (ANNOUNCED IN "CURRENT INDEX TO JOURNALS IN EDUCATION <CIJC
00060 E>") IS COVERED ALSO FROM APRIL 1979. UPDATE IS AVAILABLE BOTH FOR C
00070 RIE AND CIJE SUBFILES, SO THE FILES MAY KEPT CURRENT.') C
00080 OWNER('DAIMONJI') C
00090 SUMMARY('EDUCATIONAL RESOURCES INFORMATION CENTER DATA BASE') C
00100 TITLE('ERIC INFORMATION RETRIEVAL SYSTEM OF KYOTO UNIV.') C
00110 UNIT('ARTICLE/DOCUMENT(S)')
00120 SUBFILE RIE79 EXPLANATION('RESOURCES IN EDUCATION <RIE> IS A MONTHLY ABC
00130 STRACTS JOURNAL WHICH ANNOUNCES(CATALOGS, INDEXES, ABSTRACTS) DOCUMENTSC
00140 INTEREST TO THE EDUCATIONAL COMMUNITY(INCLUDING RESEACHERS, TEACHERS, C
00150 STUDENTS, SCHOOL BOARD MEMBERS, SCHOOL ADMINISTRATORS, COUNSELORS, ETC)C
00160 . EACH ISSUE ANNOUNCES APPROXIMATELY 1500 DOCUMENTS. ##### THIS SC
00170 UBFILE COVERS FROM APRIL TO DECEMBER, 1979 ISSUES OF RIE #####') C
00180 SUMMARY('RESOURCES IN EDUCATION, FROM APR. TO DEC., 1979')
00190 SUBFILE CIJE79 EXPLANATION('CURRENT INDEX TO JOURNALS IN EDUCATION <CIJC
00200 E> COVERS APPROXIMATELY 780 JOURNALS CONCERNING WITH EDUCATION AND EDUCC
00210 ATION RELATED FIELDS -- ANNOUNCING APPROXIMATELY 1800 ARTICLES IN EACHC
00220 MONTHLY ISSUE. ##### THIS SUBFILE COVERS FROM APRIL TO DECEMBER, 1C
00230 979 ISSUES OF CIJE #####') C
00240 SUMMARY('CURRENT INDEX TO JOURNALS IN EDUCATION, FROM APR. TO C
00250 DEC., 1979')
00260 SUBFILE RIE80 EXPLANATION('RESOURCES IN EDUCATION <RIE> IS A MONTHLY ABC
00270 STRACTS JOURNAL WHICH ANNOUNCES(CATALOGS, INDEXES, ABSTRACTS) DOCUMENTSC
00280 INTEREST TO THE EDUCATIONAL COMMUNITY(INCLUDING RESEACHERS, TEACHERS, C
00290 STUDENTS, SCHOOL BOARD MEMBERS, SCHOOL ADMINISTRATORS, COUNSELORS, ETC)C
00300 . EACH ISSUE ANNOUNCES APPROXIMATELY 1500 DOCUMENTS. ##### THIS SC
00310 UBFILE COVERS 1980 ISSUES OF RIE #####') C
00320 SUMMARY('RESOURCES IN EDUCATION, 1980 ISSUES')
00330 SUBFILE CIJE80 EXPLANATION('CURRENT INDEX TO JOURNALS IN EDUCATION <CIJC
00340 E> COVERS APPROXIMATELY 780 JOURNALS CONCERNING WITH EDUCATION AND EDUCC
00350 ATION RELATED FIELDS -- ANNOUNCING APPROXIMATELY 1800 ARTICLES IN EACHC
00360 MONTHLY ISSUE. ##### THIS SUBFILE COVERS 1980 ISSUES OF CIJE #####C
00370 ')
00380 SUMMARY('CURRENT INDEX TO JOURNALS IN EDUCATION, 1980 ISSUES')
00390 ATTRIB MARGIN(0) LETTER(CAPITAL) DELIMITER(a) NOFILEOUT NOSYSOUT
00400 KEY ERICNO ALIAS(EN) LEN(8) FIXED AD(R)
00410 ELEMENT PUBYEAR ALIAS(PY) CHAR LEN(2) FIXED AD(R)
00420 ELEMENT TITLE ALIAS(TI) TEXT LEN(500)
00430 ELEMENT DESCRIPT ALIAS(DE) CHAR LEN(2500) VAR AD(L)
00440 ELEMENT IDENTIFY ALIAS(ID) CHAR LEN(2500) VAR AD(L)
00450 ELEMENT ABSTRACT ALIAS(AB) CHAR LEN(4000) VAR AD(L)
00460 ELEMENT DESCNOTE ALIAS(DN) TEXT LEN(1000)
00470 ELEMENT AUTHOR ALIAS(AU) CHAR LEN(300) VAR AD(L)
00480 ELEMENT JRNLSNAME ALIAS(JN) TEXT LEN(200)
00490 ELEMENT ORGANIZ ALIAS(OR) TEXT LEN(500)
00500 ELEMENT LANGUAGE ALIAS(LA) CHAR LEN(300) VAR AD(L)
00510 ELEMENT REPRVAIL ALIAS(RA) TEXT LEN(500)
00520 ELEMENT EDRSPICE ALIAS(EP) TEXT LEN(200)
00530 ELEMENT ISSUENO ALIAS(IN) CHAR LEN(8) VAR AD(R)
00540 ELEMENT CLHSNO ALIAS(CN) CHAR LEN(8) FIXED AD(R)
00550 APPENDIX EN OUTPUT HEADER('EJ ACCESS NO ') C
00560 COMMENT('ERIC JOURNAL ACCESSION NUMBER --- IDENTIFIC
00570 CATION NUMBER SEQUENTIALLY ASSIGNED TO ARTICLE/DOCUMENT AS THEY ARE PROC
00580 CESSSED')
00590 APPENDIX PY OUTPUT HEADER('PUBLISH YEAR ') C
00600 COMMENT('PUBLICATION YEAR OF ARTICLE/DOCUMENT')
00610 APPENDIX TI OUTPUT HEADER('TITLE ') C
00620 COMMENT('TITLE OF ARTICLE/DOCUMENT')
00630 APPENDIX DR NOOUTPUT HEADER('DESCRIPTORS ') C
00640 COMMENT ('SUBJECT TERMS WHICH CHARACTERIZE SUBSTANTC
00650 IVE CONTENT OF ARTICLE/DOCUMENT ----- TERMS FROM <<THESAURUS OF ERIC DC
00660 DESCRIPTORS>>.')
00670 APPENDIX ID NOOUTPUT HEADER('IDENTIFIERS ') C
00680 COMMENT('ADDITIONAL IDENTIFYING TERMS NOT FOUND IN C
00690 <<THESAURUS OF ERIC DESCRIPTORS>>.')
00700 APPENDIX AB NOOUTPUT HEADER('ABSTRACT ') C
00710 COMMENT('ABSTRACT--SUMMARY--ANNOTATION')
00720 APPENDIX DN OUTPUT HEADER('DESCRIPT NOTE') C
00730 COMMENT ('PAGINATION FIRST AND SOMETIMES OTHER INFC
00740 ORMATION ON DOCUMENT ***RIE ONLY***.')
00750 APPENDIX AU OUTPUT HEADER('AUTHOR(S) ') C
00760 COMMENT('AUTHOR(S) OF ARTICLE/DOCUMENT')
00770 APPENDIX JN OUTPUT HEADER('JOURNAL NAME ') C
00780 COMMENT('NAME OF JOURNAL IN WHICH ARTICLE IS REPORTC

```

京都大学教育学部紀要 XXVII

```

00790 ED, INCULding JOURNAL VOLUME, NUMBER, PAGINATION AND PUBLISHED YEAR ***C
00800 CIJE ONLY BUT RARELY FOUND IN RIE ALSO***.)
00810 APPENDIX OR NOOUTPUT HEADER('ORGANIZATION ') C
00820 COMMENT('ORGANIZATION WHERE DOCUMENT ORIGINATED ***C
00830 RIE ONLY***.')
```

00840 APPENDIX LA NOOUTPUT HEADER('LANGUAGE ') C

00850 COMMENT('LANGUAGE USED IN ARTICLE/DOCUMENT') C

00860 APPENDIX RA NOOUTPUT HEADER('PEPRINT AVAIL') C

00870 COMMENT('###RIE### : <<EDRS>> AVAILABILITY IS INDIC

00880 ATED IN "EDRS PRICE" ITEM, THEREFORE HERE SHOWS ALTERNATE SOURCE FOR OBC

00890 TAINING DOCUMENT IF POSSIBLE. ###CIJE### : REPRINT AVAILABILITY FRC

00900 OM <<UNIVERSITY MICROFILMS INTERNATIONAL>> OR OTHERS')

00910 APPENDIX EP NOOUTPUT HEADER('EDRS PRICE ') C

00920 COMMENT('<<ERIC DOCUMENT REPRODUCTION SERVICE (EDRSC

00930)>> AVAILABILITY AND PRICES INDICATED BY PRICE CODE SCHEDULE OF EDRS. C

00940 MF= MICROFISHE & PC=REPRODUCED PAPER COPY; FOR FURTHER INFORMATION, SC

00950 EE ORIGINAL ERIC-RIE JOURNAL. ***RIE ONLY***.')

00960 APPENDIX IN NOOUTPUT HEADER('ERIC ISSUE NO') C

00970 COMMENT('ISSUE NUMBER OF ERIC ANNOUNCING ARTICLE/DOC

00980 CUMENT.')

00990 APPENDIX CN NOOUTPUT HEADER('CH ACCESS NO ') C

01000 COMMENT('CLEARINGHOUSE ACCESSION NUMBER --- 16 CLEAC

01010 RINGHOUSES, LOCATED AT UNIVERSITIES OR WITH PROFESSIONAL ORGANIZATIONS C

01020 ACROSS THE U.S., ARE EACH RESPONSIBLE FOR A PARTICULAR EDUCATIONAL AREAC

01030 .')

01040 KEYWORD KEYWORD ALIAS(KW)

01050 INDEX PY D(;)

01060 INDEX DE D(;)

01070 INDEX ID D(;)

01080 INDEX AU D(;)

01090 INDEX LA D(;)

01100 INDEX IN D(;)

01110 INDEX CN D(;)

01120 STOPWORD WORD(A ABOUT ABOVE AFTER ALL ALSO AM AMONG AN AND ANY ARE C

01130 AS AT BAND BE BEFORE BEI BEING BERICHT BETWEEN BUT BY CAN C

01140 CHEZ COINS DE DER DES DIE DO DU EN ET FEW FOR FROM FUR C

01150 FURTHER HAS HAVE HELD HOW I IF II III IN INTO IS IT ITS IV C

01160 LA LE LES LET MANY MAY MEET MIT MORE NEED NEEDS NEW NO NOT C

01170 NOW NR OF OH OR OTHER OUR OUT OVER PART PAST PT S SHOULD C

01180 SOME SUR T THEN THAT THE THEIR THERE THEY THROUGH TO TOWARD C

01190 TOWARDS UBER UND UNDER UP UPON V VIA VOL VS WAS WE WHAT WHEN C

01200 WHERE WHICH WHILE WHO WHY WILL WITH WITHIN WITHOUT WON VERY C

01210 ZUR)

01220 HAP

01230 END

資料2 データ変換プログラム

```

00010 FAIRS: PROC OPTIONS(MAIN);
00020     DCL INBUF(7008) CHAR(1);
00030     DCL BLKSIZE CHAR(2) DEF INBUF
00040     ,RECSIZE CHAR(2) DEF INBUF POS(5)
00050     ,INDATA CHAR(6973) DEF INBUF POS(36);
00060     DCL TAGLIST(19) FIXED(3,0)
00070     INIT(' 16',' 17',' 23',' 26',' 27'
00080     , ' 35',' 36',' 37',' 38',' 43'
00090     , ' 44',' 49',' 50',' 75',' 76'
00100     , ' 77',' 78','128','132')
00110     ,ITEM(19) CHAR(4) INIT('ADD ','-CN ','-PY ','-TI ','-AU '
00120     , '-DE ','-ID ','-EP ','-DN ','-IN '
00130     , '-AB ','-RA ','-JN ','-LA ','-LA '
00140     , '-X1 ','-X2 ','-OR ','-X4 ')
00150     ,W CHAR(1);
00160     DCL TAG FIXED(3,0);
00170     DCL (I,J,K,L,LL,OP) FIXED BIN(31,0)
00180     , (BLKLENG,RECLENG,FLDLENG,M) FIXED BIN(16,0);
00190     DCL OUTDATA CHAR(4000) VARYING;
00210     DCL INDD FILE INPUT ENV(BLKSIZE(32000),U)
00220     ,OUTDD FILE OUTPUT ENV(BLKSIZE(4004),RECSIZE(4000),VB);
00230     ON ENDFILE(INDD) GO TO FINISH;
00240     START: READ FILE(INDD) INTO(INBUF);
00250     OP=1;
00260     BLKLENG=UNSPEC(BLKSIZE);
00270     RECLENG=UNSPEC(RECSIZE);
00280     LOOP1: FLDLENG=UNSPEC(SUBSTR(INDATA,OP,2));
00290     TAG=UNSPEC(SUBSTR(INDATA,OP+2,2));
00300     DOLP1: DO L=1 TO 19;
00310     IF TAG=77|TAG=78|TAG=132 THEN GO TO CONT;
00320     IF TAG=TAGLIST(L) THEN DO;
00330     LL=L;
00340     GO TO NEXT;
00350     END;
00360     END DOLP1;
00370     IF TAG=19|TAG=28|TAG=32|TAG=39|TAG=40|TAG=45|TAG=46|TAG=47|TAG=48
00380     THEN GO TO CONT;
00390     GO TO MESSG;
00400     NEXT: OUTDATA=' ';
00410     J=FLDLENG-4;
00420     IF TAG=23 THEN DO;
00430     K=0;
00440     DO L=OP+4 TO OP+FLDLENG;
00450     W=SUBSTR(INDATA,L,1);
00460     IF W='1'|W='2'|W='3'|W='4'|W='5'
00470     |W='6'|W='7'|W='8'|W='9'|W='0'
00480     THEN DO;
00490     K=K+1;
00500     SUBSTR(INDATA,OP+3+K,1)=W;
00510     END;
00520     END;
00530     J=K;
00540     GO TO OUTPUT;
00550     END;
00560     IF TAG=35|TAG=36 THEN DO;
00570     DO L=OP+4 TO OP+FLDLENG;
00580     W=SUBSTR(INDATA,L,1);
00590     IF W='*' THEN SUBSTR(INDATA,L,1)=' ';
00600     END;
00610     END;
00620     GO TO OUTPUT;
00630     OUTPUT: OUTDATA=ITEM(LL)||SUBSTR(INDATA,OP+4,J);
00640     WRITE FILE(OUTDD) FROM(OUTDATA);
00650     GO TO CONT;
00660     MESSG: OUTDATA=' ';
00670     K=1;
00680     J=FLDLENG-4;
00690     OUTDATA= SUBSTR(INDATA,OP+4,J);
00700     PUT LIST (TAG,OUTDATA);
00710     CONT: OP=OP+FLDLENG;
00720     IF RECLENG>OP+32 THEN GO TO LOOP1;
00730     M=UNSPEC(SUBSTR(INDATA,OP,2));
00740     RECLENG=RECLENG+M;
00750     OP=OP+31;
00760     IF BLKLENG>OP+32 THEN GO TO LOOP1;
00770     ELSE GO TO START;
00780     FINISH: END FAIRS;

```

経て完成されたものである。9月現在では1979年4月から80年3月までの12ヶ月分が入力されており、RIE 79 12694件、RIE 80 3981件、CIJE 79 15732件、CIJE 89 4458件からなる計 36815 件の文献が検索可能となっている。80年度分についても磁気テープが到着しただちに入力するが、その後は1ヶ月単位でファイル更新ができる見込みであるから、この紀要が発行されるころには最新の文献情報までが利用可能となっているものと思われる。

ERIC データベースの開発担当者としては、今回完成させたものが最良であるとは決して考えておらず、実際に利用されたユーザーの意見や要望を集約してさらに使い良いものに改良していく所存である。現在すでに新たな機能追加の検討もはじめられている。他方、第1報でも指摘されているように、毎年欠さず原データの磁気テープを入手して情報を蓄積しなければ ERIC データベースは価値のないものになってしまうだろう。また、過去に遡ってデータを整備すれば、ますます有力な研究補助として機能を果すであろう。

この開発にあたっては、京都大学大型計算機センターの開発計画の一環として星野聡助教授、渡辺豊英助手、村尾義和、堀池博己両技官の指導と援助を受けたことを記して深く感謝したい。村尾技官には実際の作業を直接担当していただいている。

多くの研究者が ERIC データベースを文献検索の一助として利用されることを願って止まない。

引用文献

百名盛之、村尾義和、村上直之、荳阪満里子「教育学および関連諸科学の電算機による文献検索プログラムの開発について(1)」京都大学教育学部紀要第26号、344-348、1979。

付記

ERIC データベースの検索方法については、その全容が富士通社のマニュアル『FAIRS-I 使用手引書』の185～273ページにある。必要事項をまとめたものに大型センター発行の『利用の手引——データベース検索編』があるが、80年9月現在改訂作業中であり初版のERICのページは役に立たない。また大型センターの『広報』にも「FAIRSによるデータベース検索(1)」から「同(8)」までがあり、具体的な利用例を含めた解説が多くて理解しやすい(広報1979, Vol. 12 No. 3～1980, Vol. 13 No. 4)。この紀要が発行時には、同シリーズでERICの平易な解説が掲載されている様に準備中である。